

# 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 大鰐町社会福祉協議会



# 令和4年度 大鰐町社会福祉協議会事業報告

## 1 法人経営の組織基盤の強化

### (1) 会員の加入促進

地域福祉の推進に参加・協働する地域住民及び団体・企業等を構成員とし、地域福祉への理解を促し、安定した財源の確保のため、一般会員の他、特別会員・賛助会員の新規加入の促進に努めた。

会員・会費の状況

会員区分	加入数 (件)	金額 (円)	前年度比 (円)
一般会員 (原則1,000円)	1,893 【1,964】	1,892,000 【1,963,500】	△71,500
特別会員 (2,000円以上)	25 【 23】	50,000 【 46,000】	4,000
賛助会員 (3,000円以上)	63 【 65】	238,000 【 236,000】	2,000
合計	1,981 【2,052】	2,180,000 【2,245,500】	△65,500

※ 【 】内は令和3年度実績

### (2) 理事会・評議員会の開催状況

第1回理事会 6月1日開催 理事9名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議案内容
第1号	大鰐町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正案について
第2号	大鰐町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正案について
第3号	大鰐町中央児童館放課後児童補助員就業規則の一部改正案について
第4号	経理規程の一部改正案について
第5号	令和4年度第1次資金収支補正予算について
第6号	令和3年度事業報告について
第7号	令和3年度収支決算について
第8号	評議員候補者の推薦について
第9号	令和4年度第1回評議員会の開催について

第1回評議員会 6月20日開催 評議員13名・理事3名・監事2名出席	
評議員会 議案番号	議案内容
第1号	令和3年度事業報告について
第2号	令和3年度収支決算について

第2回理事会		10月25日開催	理事8名・監事1名出席
理事会 議案番号	議案内容		
第10号	ひとり親世帯緊急子育て家庭応援事業実施要綱案について		
第11号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会ボランティアセンター設置及び運営規程案について		
第12号	令和4年度第2次資金収支補正予算案について		

第3回理事会		3月17日開催	理事10名・監事2名出席
理事会 議案番号	議案内容		
第13号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正案について		
第14号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正案について		
第15号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会大鰐町中央児童館放課後児童支援員及び補助員就業規則の一部改正案について		
第16号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正案について		
第17号	社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会人事評価実施規程案について		
第18号	令和4年度第3次資金収支補正予算案		
第19号	令和5年度事業計画案について		
第20号	令和5年度資金収支予算案について		
第21号	令和5年度社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会役員等賠償責任保険の契約締結について		
第22号	令和4年度第2回評議員会の開催について		

第2回評議員会		3月23日開催	評議員14名・理事4名出席
評議員会 議案番号	議案内容		
第3号	令和4年度第3次資金収支補正予算案について		
第4号	令和5年度事業計画案について		
第5号	令和5年度資金収支予算案について		

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
6月14日	5名	第1回評議員選任・解任委員会

(4) 監査会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月16日	2名	令和3年度事業報告及び決算監査
10月20日	2名	令和4年度中間監査
2月3日	2名	財政支援団体への町監査委員監査

(5) 三役会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月18日	4名	第1回理事会及び第1回評議員会に提出する議案等について
9月27日	4名	新規事業に係る方針の決定について
10月14日	3名	第2回理事会に提出する議案等について
2月22日	4名	第3回理事会及び第2回評議員会に提出する議案等について

(6) 部会・委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
4月27日	2名	福祉サービス苦情解決第三者委員会
6月20日	3名	第1回調査広報部会
9月21日	3名	第2回調査広報部会
12月26日	2名	第3回調査広報部会
3月27日	4名	第4回調査広報部会

(7) 事務局体制の充実と職員の資質向上

① 職員会議、ミーティング等の開催

職員の資質向上と福祉サービス向上及び各部署間の連携・協力を目的に、必要に応じて随時職員会議を開催した。

② 研修会等の参加状況

月 日	内 容 等	出席者	場 所
6月2日	第1回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	2名	板柳町
6月17日	社会福祉法人運営の基本対策セミナー	3名	オンライン
6月27日	令和4年度日常支援専門員・生活支援員研修会	1名	平川市
7月13日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修実践3	1名	オンライン
7月15日	生活支援コーディネーター情報交換会	2名	オンライン
7月21日	高齢者地域活動支援研修会及び地域高齢者担い手育成研修会	1名	青森市
7月22日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修実践4	1名	オンライン
8月2日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修実践5	1名	オンライン
8月10日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修実践6	1名	オンライン
8月24日	生活支援コーディネーター養成研修 基礎編	1名	オンライン
8月29日 ～ 9月4日	災害ボランティア	2名	鯨ヶ沢町
9月10日	中弘南黒母子寡婦福祉会70周年記念大会	1名	平川市
9月14日	生活支援コーディネーター養成オンライン研修基本1	1名	オンライン
9月16日	心の相談・自殺対策に関する講演会	1名	大鰐町
9月21日	津軽広域心配ごと相談員研修会	2名	板柳町
9月22日	生活支援コーディネーター養成研修 実践編Ⅰ	1名	オンライン
10月14日	社協の介護サービス事業の今後の展開等に関する勉強会	1名	オンライン
10月24日	2022年福利厚生センター東北ブロック広報講習会	1名	青森市
11月2日	青森県社会福祉大会	5名	青森市
11月28日	生活支援コーディネーター養成研修 実践編Ⅱ	1名	オンライン
11月15日	津軽広域社協連絡協議会職員研修会	3名	弘前市
12月12日	第2回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	3名	青森市
12月16日	津軽広域社協地域福祉活動推進会議	8名	田舎館村

月 日	内 容 等	出席者	場 所
1月13日	津軽広域社協委員研修会	5名	弘前市
1月30日	相談援助技法研修会	3名	オンライン
2月8日	令和4年度生活福祉資金貸付事業担当者研修会	2名	オンライン
3月6日	令和4年度相談支援包括化推進会議	2名	オンライン

## 2 地域支えあい体制の構築

### (1) ほのぼのコミュニティ21推進事業

一人暮らし高齢者など見守りが必要な方の安否確認や状況把握をするため、地区ごとに見守りボランティアの「ほのぼの交流協力員」を53名配置し、地域の支え合いづくりを目的とした大鰐町からの委託事業である。

#### ① ほのぼの交流協力員等研修会「地域支え合い活動研修会」の開催

日 時 3月3日(金)

参加者 51名

内 容

- ・大鰐町より情報提供
- ・講義「『お互いさま』から生まれた喜び、つながり」  
講師 蓬田村社会福祉協議会事務局長 田中利明 氏
- ・講義「日ごろ何気なくできている見守りの大切さ」  
講師 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター  
参事 橋本泰典 氏
- ・フリートーク「このつながりを大鰐町の未来へつなげよう」

#### ② 「おおわにの【わ】」発行

地域のつながりの大切さ、見守り活動の啓発を目的としたパンフレット、「おおわにの【わ】」を作成し、毎戸配布した。

### (2) 福祉安心電話サービス事業の実施

在宅で生活している一人暮らし高齢者などを対象に、緊急時の安全確保・不安や孤立を解消するため「福祉安心電話」を設置し、24時間体制の見守り活動を実施した。

・設置台数 14台(うち3台は一時休止中)

・福祉安心電話協力員数 32名

### (3) 福祉懇談会「ほっとカフェ」

地域の課題についての情報交換の場や、つながりづくりの場として、開催を希望している地区へ出向き実施した。

日 時 5月24日(火) 午後1時30分から午後3時30分

場 所 虹貝新田へき地保健福祉館

参加者 13名

内 容 レクリエーション、情報交換

(4) ふれあいサロンの開催

町内全域で参加者を募り、住民どうしの集いの場、地域の声を拾う場として総合福祉センターで実施した。

	開催日	内 容	参加者
第1回	8月9日	金魚のモビール作り	7名
第2回	8月24日	カーレット（卓上カーリング）	8名
第3回	10月4日	タイルで作るコースター	12名
第4回	11月1日	バラのメモスタンド作り	18名
第5回	12月13日	クリスマスのお花	27名
第6回	1月10日	獅子踊り鑑賞と彩の書初め	7名
第7回	2月8日	懐かしの映画上映会	23名
第8回	3月24日	折り紙で脳トレ	4名

(5) 「福祉センターみんなの作品展」の開催

生きがいづくりや地域社会との交流を目的に例年実施しているもので、令和4年度は11月15日から12月11日まで総合福祉センターロビーにおいて、当館利用の子どもたちや町内の福祉施設の利用者、地域の住民等の作品（写真、手芸、工作等）を展示した。

(6) 生活支援体制整備事業の推進

当該事業は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしく生活するため、高齢者の生活支援ニーズの把握、不足する支援サービスを創出及び既存の取組み等へ繋げることを目的としており、令和4年度は、特に通いの場の調査、地域のつながりの大切さの周知等に重点を置いて実施した。

① 通いの場の調査、周知

区長、民生委員児童委員、ほのぼの交流協力員へアンケート調査を実施し、拾い出した通いの場へ赴き実態を調査した。また、社協広報誌「ウェルフェア」に「わが町、お宝」というコーナーを設け、通いの場の周知、啓発をした。

② 地域について考える会の開催

地区の区長、民生委員児童委員、ほのぼの交流協力員、老人クラブ会員、保健協力員に集ってもらい、地域の魅力や課題について話し合う会を開催した。

居土地区 日 時 5月20日(金)  
場 所 居土集会センター  
参加者 7名

宿川原地区 日 時 6月23日(木)  
場 所 宿川原生活改善センター  
参加者 7名



### ③ 地域づくり講座の開催

県高齢福祉保険課によるフレイル予防事業の一環として開催したもので、講師を招き、健康維持のためにしていることや地域住民どうしのつながりの大切さについてグループワークを行った。

日 時 12月8日(金)

場 所 虹貝コミュニティセンター

参加者 19名

虹貝婦人会、大鰐7A町会役員、  
虹貝と大鰐7Aの民生委員児童委員、ほのぼの交流協力委員及び  
保健協力員

内 容 講義「日常の中にある支え合い」

講師 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

参事 橋本泰典 氏

## 3 福祉教育・ボランティア活動の推進

### (1) ボランティア推進校の指定

町内の小中学校を「ボランティア推進校」として指定し、ボランティア活動や体験学習の機会を提供し、児童・生徒のボランティア活動推進を目的に実施した。

・指定校状況

大鰐小学校	35年目
大鰐中学校	30年目

### (2) 小学校のボランティアスクール

・月 日 10月13日(木)

・場 所 大鰐小学校

・対 象 6年生43名

・内 容 車椅子介助体験、弱視体験

県内大雨災害とボランティア活動について

### (3) 一人暮らし高齢者等除雪ボランティア事業

大鰐中学校の生徒と連携し、1月28日、2月4・18・25日の4回、町内6か所で実施した。

中学校では、この活動に代えて校内の清掃ボランティアを募り、粗大ごみの整理や、普段行き届かないところの清掃を行った。



## 4 生活困窮者等の自立支援

低所得者などを対象とした資金貸付制度および生活困窮者自立支援事業、フードバンク等について関係機関と連携を図りながら活用を推進した。

生活困窮に関する相談は全16件あり、下記事業の活用や関係機関と連携し、自立を支援した。

また、フードバンクについては、多量の玄米の寄附があったため、町内各団体に寄贈した。

### (1) たすけあい資金（債権者：大鰐町社協）

- ・令和4年度貸付決定 1件 80,000円
- ・令和4年度償還金額 合計 189,464円

### (2) たすけあい援助事業（物資支給）

- ・令和4年度利用世帯 8件（食料及び灯油）

### (3) 生活福祉資金貸付事業（債権者：青森県社協）

- ・令和4年度貸付決定（コロナ特例）緊急小口資金 3件 600,000円
- ・令和4年度償還率 14.26%

### (4) 生活困窮者自立支援事業との連携

個別に支援対象者の相談対応、関係機関との打ち合わせを行った。家計管理に関する課題が多く、就労支援や様々な制度の情報提供をした。

- ・中南地域窓口支援調整会議 支援対象者 10名（3月末日時点）

### (5) ひとり親世帯緊急子育て家庭応援事業

新型コロナウイルスの感染拡大や物価高騰により、大きな打撃を受けたひとり親子育て世帯に、生活意欲の助長と少しでも子どもたちの成長の手助けとなるように日用品及び食料品を支給した。

- ・支給世帯数 89世帯（97世帯中）
- ・支給品 日用品及び食料品10,000円相当



### (6) ひとり親世帯新入学児童生徒学業応援事業

共同募金配分金事業の一環として、ひとり親世帯で、次年度小学校、中学校に入学する児童生徒へ一人5,000円分の図書カードを配布した。

- ・小学校入学児童 8名
- ・中学校入学生徒 8名
- 合計 16名

## 5 総合相談・援助体制の確立

### (1) 大鰐町心配ごと相談所の開設

大鰐町総合福祉センターにおいて、一般相談所を開設し、町民の心配ごとの解決・解消を支援した。

- ・開設日 4月21日、5月12日、5月18日、6月9日、7月7日、8月4日、8月23日、10月6日、10月27日、11月28日、12月8日、1月12日、3月9日（計13回）
- ・相談件数 17件（相続、家族関係、金銭貸借、不動産、債務整理等）

## (2) 広域法律相談所事業

毎月、平川市社協、西目屋村社協、藤崎町社協、板柳町社協、田舎館村社協、大鰐町社協の持ち回りで弁護士による法律相談所を開設し、町民の様々な心配ごとの解決・解消を支援した。

- ・開設日 11回（うち大鰐町総合福祉センターで2回）
- ・相談件数 7件（大鰐町で実施した2回中での相談件数）

## (3) 福祉サービス苦情解決第三者委員の設置

大鰐町が実施している指定管理施設（老人福祉センター、児童館）利用者などからの苦情や要望を適切に解決するために設置（委員3名）

令和4年度は施設に関する苦情が8件、放課後児童に関する苦情が1件あったが、適切に対応した。

## 6 生活支援体制の確立

### (1) 日常生活自立支援事業

高齢化などにより、判断能力が不十分な方を対象に、生活支援員と連携し、日常的な金銭管理や重要書類の預かりなどのサービスを実施した。

- ・利用者 14名
- ・生活支援員 4名
- ・支援件数 148件（利用者1名につき、月1～2回利用）

### (2) 介護用品支給サービス事業

在宅生活をしている要介護状態の高齢者などに対して紙おむつ等の介護用品を支給することで、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施した。

- ・地域支援任意事業（要介護4～5の非課税世帯 大鰐町委託事業）： 対象者 延べ60名
- ・老人福祉事業（要介護1～3の非課税世帯 社協独自事業）： 対象者 延べ62名

### (3) 福祉機器の貸出事業

在宅の要介護状態の高齢者や障がいのある方を対象に、経済的負担と介護負担などの軽減を目的とした、福祉機器（車椅子等）の貸出をおこなった。

- ・貸出件数 5件（車椅子）

## 7 福祉啓発活動の推進・福祉情報の提供

- (1) 社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会のホームページ公表  
社協のホームページを効果的に活用し、福祉に関する情報の提供や、社協が行った事業のPRを行った。
- (2) 社協広報誌「ウェルフェアおおわに」の発行  
年に4回発行し、住民の皆様に福祉情報及び社協の事業活動の情報提供を行った。
- (3) 大鰐町社会福祉大会の開催  
住民主体による地域福祉の推進に向けて共通認識を深めるとともに、この町の社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を表彰し、感謝の意を表すことにより、本町の社会福祉の一層の発展に資することを目的に開催した。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典のみとした。

- ・日 時 9月6日(火) 午前10時
- ・表彰者 9名
- ・感謝状贈呈者 2名4団体



## 8 福祉バス事業

冬期間、引きこもりがちとなる高齢者の活動量の向上と集いの機会の提供を目的として、例年11月から3月まで、町内各地区から総合福祉センターまでの往復区間を運行する高齢者入浴福祉バス事業を行い、併せて令和4年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

運行ルート	運行日	利用者数
①駒ノ台、九十九森、唐牛、長峰、苦木方面	11/12(火)	12名
	12/13(火)	20名
②高野新田、居士、三ツ目内、島田、早瀬野、虹貝新田、虹貝方面	1/10(火)	14名
	1/31(火)	16名
③八幡館・鯖石、森山、宿川原方面	2/14(火)	20名
	3/14(火)	21名
計		103名

※ 令和4年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」の実績は、15頁を参照



## 9 指定管理者制度・受託事業の効果的運営（大鰐町指定管理：令和4年度～令和8年度）

(1) 大鰐町老人福祉センターの管理運営（14～15頁）

(2) 大鰐町中央児童館の管理運営（16～22頁）

(3) 第18回大鰐町長寿福祉祭

総合福祉センターにおいて式典を開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を中止し顕彰者の記念撮影のみとした。

- ・日 時 9月6日（火）午前10時
- ・対象者 ①長寿番付 横綱・大関 4名  
②90歳顕彰者 76名  
③金婚夫婦 3組

(4) 大鰐町戦没者追悼式

大鰐町総合福祉センターにおいて、町長及び関係団体及び戦没者の関係者30名の参加によりしめやかに戦没者を追悼した。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を中止し自由献花のみとした。

- ・日 時 8月20日（土）午前11時

## 10 福祉関係団体への援助及び団体育成支援

(1) 助成事業

社協の補助金交付を受ける5団体について団体運営の健全化を図ると共に、団体の目的を達成するため、団体の育成支援をした。

・補助金交付団体

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町単位老人クラブ（11団体）、大鰐町遺族会、大鰐町母子寡婦福祉会、大鰐町身体障害者福祉会

(2) 団体事務局

社協が各団体の事務局となり、協働して各事業を展開した。なお、次の3団体については、社協の事業と密接に連携しており、事業を進めるにあたり、不可欠の団体となっている。

・団体一覧

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町共同募金委員会、あすなろ母親クラブ

## 11 共同募金運動への協力

大鰐町共同募金委員会が中心となり、10月1日より共同募金運動を実施した。人口の減少にともなって寄付も減少傾向にあるが、前年度の募金額に近い募金額となった。

令和2年度から500円以上の寄付者（戸別募金以外）に対して、町のキャラクターが描かれたピンバッジを進呈しているが、令和4年度もデザインをいくつか考案し、福祉センター来館者による投票で決定した。

・募金運動期間	10～2月	
・募金金額合計	1,534,558円	（目標額1,500,000）
■内訳	戸別募金	1,302,200円
	街頭募金	13,103円
	学校募金	16,750円
	職域募金	57,907円
	その他	144,598円（ピンバッジ寄附を含む）

## 12 関係機関・団体との連携

次の機関と連携をとり、各事業の運営を行った。

- ・大鰐町
- ・津軽広域社会福祉協議会  
（弘前市社協、黒石市社協、平川市社協、藤崎町社協、板柳町社協、田舎館村社協、西目屋村社協）
- ・青森県市町村社会福祉協議会連絡協議会



## 令和4年度 大鰐町老人福祉センター事業報告

### 1 事業概要

高齢者福祉の向上を図るため、生きがい事業の実施や老人クラブ活動の援助を行った。また、施設の使用料徴収および減免、設備の維持管理及び必要に応じた修繕などに係る業務を行った。

### 2 公共施設の管理運営

月	開館日数	浴場開設日数	入浴者数(人)	入浴料(円)	備 考
4月	25	25	361	27,800	町外一般1名(300円)
5月	23	23	335	22,950	
6月	26	26	325	25,600	
7月	27	24	268	21,700	・臨時開館(町職員採用試験) ・ 〃 (児童館まつり) ・温泉臨時休業(供栓交換)
8月	26	26	310	21,100	
9月	24	24	272	22,250	町内一般1名(150円)
10月	25	24	261	26,600	温泉臨時休業(大湯バルブ交換)
11月	24	22	263	28,450	温泉臨時休業(2日間、井水汚濁)
12月	25	24	324	32,000	・臨時開館(クリスマス会)
1月	23	21	337	32,700	・4日臨時休業(調整) ・上水工事による温泉臨時休業 ・町内一般1名(150円)
2月	22	21	378	32,100	温泉臨時休業(カビ取り清掃)
3月	26	26	380	37,100	
合計	296	286	3,935	330,350	
前年比	△1	△4	+145	+12,350	

- ・浴場清掃を次のとおり実施

毎 日：次亜塩素酸ナトリウムを使用した清掃及びお湯の交換  
 月 1回：業務用洗剤(酸性)による薬剤清掃  
 年 2回：業者によるカビ取り清掃

- ・温泉に係るレジオネラ属菌検査(年4回実施)は全て異常なし。
- ・飲料水の水質悪化に伴い、ウォーターサーバを設置(R4.7.28)したが、上水道工事の完成に伴い撤去した。
- ・上水道の一部を高架槽から直接送水に変更する工事(R5.3.7完成)を実施。これにより飲料に供される上水道の配管が更新され、水質悪化の原因が対策された。
- ・その他老朽化による施設の修繕を行った。(床材剥がれ、トイレの取っ手破損等)



### 3 生きがい活動

#### (1) 冬期間高齢者生きがい事業

入浴福祉バス事業と併せて、令和4年度冬期間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

行 事	開催日	参加人数
グラウンドゴルフ	11/22 (火)	26名
寅蔵のたのしいヘルシーディスコ	1/31 (火)	21名
	2/14 (火)	30名
	2/28 (火)	9名
ふまねっと運動	3/19 (火)	22名
合計		108名

#### (2) ふれあいサロン

共同募金配分金事業で、町内全域で参加者を募り、住民どうしの集いの場、地域の声を拾う場として総合福祉センターで実施した。

※ 令和4年度ふれあいサロンの実績は、6頁を参照

#### (3) 世代間交流事業

児童館では「季節のお茶会」を次のとおり実施した。

行 事		開催日	参加人数
季節の お茶会	夏のお茶会	8/9 (火)	46名
	春のお茶会	3/24 (火)	72名
合 計			118名

### 4 老人クラブ事業

新型コロナウイルス感染症が収束に向かい行動等が緩和されたことに伴い、状況を見極めながら事業を再開した。

行 事	開催日	場 所	参加人数
定時総会	4/5 (火)	福祉センター	36名
グラウンドゴルフ大会	6/23 (木)	あじやら常設グラウンドゴルフ場	25名
県老連芸能発表会	10/7 (金)	リンクステーションホール青森	15名
橋巡りウォーキング	10/17 (月)	大鰐町内	10名
幹部研修会	11/18 (金)	つがる富士見荘(鶴田町)	34名
第1回カラオケ大会	12/8 (木)	シーハイル	12名
町老連芸能発表会	12/16 (金)	福祉センター	74名
新年顔合わせ会	1/10 (火)	〃	37名
屋内ペタンク大会	2/21 (火)	〃	54名
トランプ大会	3/15 (水)	〃	26名
合 計			323名

### 5 消防総合訓練

消防法により年2回の訓練が義務付けられているため、児童館と共催で7/26と1/10に実施した。

### 6 避難所の開設

大雨災害のため、町の指示により自主避難所を開設した。(8/3、8/9~10、12)

## 大鰐町中央児童館 令和4年度年間事業実績

### 1. 事業概要

- (1) 幼児から高校生までを対象とし、健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにする。
- (2) 昼間保護者のいない家庭の児童を対象とし、遊びを主とする活動を行い、安心して過ごせる居場所を作る。
- (3) 地域住民と子どもたちがふれあいながら交流できる活動と場所づくりをし、地域全体が子育てを行う環境づくりに努める。

### 2. 年間目標

- (1) 仲間との色々な遊びや体験を通して心身ともに健やかな成長を目指す。
- (2) 異年齢児との関わりの中で、思いやりの心と社会性を育む。
- (3) 日常のあいさつ、言葉づかいや公共の場での基本的ルールを身につける。
- (4) 人やものを大切にすること。

### 3. 年間事業

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
4	中旬		出前じどうかん	読書まつりにコーナー等を出前する	中止	中央公民館、読書推進会
	18	月	ウェルカムパーティー	新しい友だちを迎え、お楽しみ会をする	26	福祉センター
5	11	水	児童館運営委員会	前年度の報告と今年度の事業計画について	15	福祉センター
	14	土	いも植え	じゃがいもの植付け	26	福祉センター裏畑 子育て支援 世代交流
	14	土	花いっぱい作戦①	中庭につつじ、花壇やプランターに花を植え楽しむ		福祉センター 花壇他 世代交流
	16	月	ふれあいクッキングⅠ	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	中止	老人クラブ
	16	月	花いっぱい作戦②	花壇、プランターの手入れをする		福祉センター 花壇他 世代交流
	26	木	公園の安全点検 危険箇所点検	地域や公園で遊具等の点検を行う 学校から児童館までの危険箇所の点検をする	9	母親クラブ
6	4	土	まち探検 (大鰐町を歩こう)	『大鰐』の知らなかった部分を知りながら散策する 通学路の危険箇所を確認する	17	町内・福祉センター
7	3	日	児童館まつり &健康フェスタ	入場券を200枚限定で販売し実施 健康フェスタも小規模実施	334	世代交流、母親クラブ、子ども会、 中学生ボランティア、わにっこクラブ 読書推進会他
	27	水	スライムをつくろう	洗剤の科学反応を利用してスライムを作る	46	福祉センター
	29	金	館外活動①	仲間とともにボウリングを楽しむ	37	弘前ファミリーボウル
8	2	火	すいかを食べよう	ピーチボールですいか割りごっこを楽しみすいかを食べる	50	福祉センター
	3	水	かき氷を食べよう	大雨により川の氾濫の危険があり避難指示あり	中止	福祉センター
	5	金	じゃがいも掘り	春に植えたじゃがいもの収穫を楽しむ	44	福祉センター
	9	火	夏のお茶会	地域の方々とお茶会を通して交流する	46	
	10 17	水 水	工作をがんばろう① 工作をがんばろう②	土粘土で好きなものを作って楽しむ	16 12	
9	10	土	ふれあいクッキングⅡ	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	中止	母親クラブ
10	1	土	おでかけ児童館	公園や体育施設に出かける	30	城北公園交通広場
	14	金	科学遊びを楽しもう	仲間とともに色々な科学あそびを楽しむ	37	三沢航空科学館
	22	土	スポーツ交流会	講師を招いて運動あそびを楽しむ	32	福祉センター スポネット弘前
	26	水	防犯訓練	不審者対応訓練	45	職員、児童

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
11	5	土	木工教室	くぎやかなづちをつかった木工作品作り	23	親子参加型
	15	火	福祉センターみんなの作品展	チャレンジクラブ等での作品や母親クラブの作品を展示する	開催	福祉センターロビー (12/11まで)
	26	土	出張ふれあい児童館	地域の方々と交流しながら様々な遊びを楽しむ	30	虹貝新田へき地 保健福祉館
12	11	日	クリスマスお楽しみ会	ステージ、遊びのコーナー、手作り品販売など	246	世代交流、母親クラブ、子ども会、 中学生ボランティア、子育て支援、 読書推進会他
	17	土	ふれあいクッキングⅢ	クリスマスメニューと栄養について学ぶ	中止	民生委員児童委員
	27	火	パソコンでカレンダー作り	パソコンを利用してカレンダー作りを楽しむ	20	福祉センター図書室
1	6	金	雪あそび	雪だるまやかまくらなどを作ったりして雪遊びを楽しむ	40	福祉センター
	10	火	伝統芸能にふれる会	地域の方と地元の三ツ目内獅子踊保存会のししまい鑑賞と昔あそびを楽しむ	100	福祉センター
	12	木	小さなもちつき会	外部団体を招かず、小規模にもちつきを楽しむ	中止	母親クラブ、老人クラブ、 子育て支援他
	13	金	館外活動②	ボウリングと昼食会を楽しむ	34	弘前市ファミリーポ ウル
	28	土	はじめてのヒップホップ	人気ヒップホップダンスに挑戦する	18	福祉センター
2	13	月	児童館運営委員会	今年度の事業実施状況と次年度事業の検討	14	福祉センター
	26	日	入学おめでとう会	新入学児童を迎えて地域の方々とお祝いする	130	町内新入学児童、保護者
3	24	金	世代間交流春のお茶会	地域の方々とお茶を楽しむ	61	福祉センター 老人クラブ(サロン)
	28	火	館外活動③	仲間とともに映画鑑賞と昼食を楽しむ	55	弘前市内
	29	水	がんばった会	お楽しみ会で今年度を振り返る	51	
通年		水	チャレンジクラブ	工作、手芸、おやつ作り、チャレンジランキン グやあそびの検定など	延べ 1,197	毎週水曜日

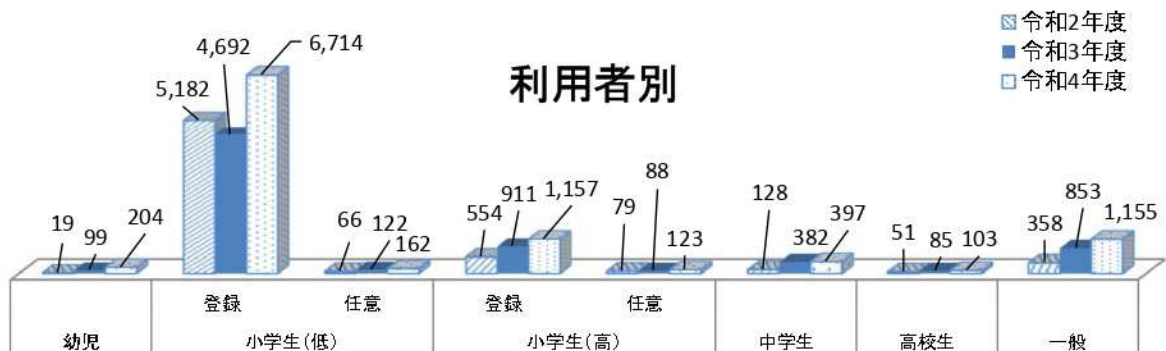
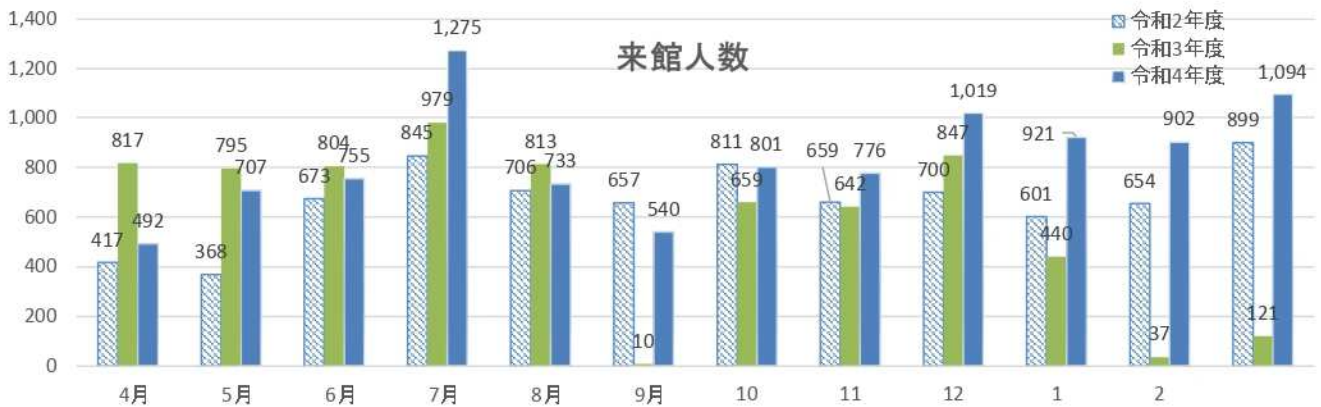
※ 避難訓練(毎月1回 ほか防犯訓練実施)

4. 年間事業

令和4年度 開設日数及び利用人数

月	開館日数	幼児	小学生(低)		小学生(高)		中学生	高校生	一般	計	うち登録 一日平均	その他の 利用状況
			登録	任意	登録	任意						
4	17 (25)	1	349	12	69	5	16	1	39	492	17	227
5	23	1	511	9	74	17	16	2	77	707	25	213
6	26	2	580	12	60	12	17	7	65	755	25	283
7	26 (25)	50	686	55	121	25	57	28	253	1,275	32	178
8	24 (26)	0	500	0	124	6	72	13	18	733	24	136
9	23 (24)	3	450	0	37	3	9	2	36	540	20	121
10	25	3	606	0	91	1	29	6	65	801	28	179
11	24	5	592	2	81	6	12	1	77	776	28	158
12	25 (24)	31	595	52	97	16	44	4	180	1,019	30	323
1	23	56	573	2	121		23	6	140	921	30	156
2	23(22)	44	534	17	119	23	25	17	123	902	30	257
3	26	8	738	1	163	9	77	16	82	1,094	35	358
合計	285 (293)	204	6,714	162	1,157	123	397	103	1,155	10,015	27	2,589
利用割合		2.0%	67.0%	1.6%	11.6%	1.2%	4.0%	1.0%	11.5%	100.0%		

※ ( ) 放課後



令和4年度時間外利用実績

月	7:15~	7:45~	早番計	~18:30	~19:00	遅番計	時間外月計
4	9	30	39	6	0	6	45
5	3	16	19	4	2	6	25
6	2	10	12	5	0	5	17
7	30	91	121	10	0	10	131
8	44	135	179	7	2	9	188
9	0	8	8	7	0	7	15
10	5	7	12	4	0	4	16
11	1	8	9	4	4	8	17
12	16	31	47	10	5	15	62
1	45	62	107	1	0	1	108
2	3	15	18	11	0	11	29
3	39	50	89	12	1	13	102
累計	197	463	660	81	14	95	755
月平均	16	39	55	7	1	8	63



じゃがいも植え



児童館まつり



おでかけ児童館



出張ふれあい児童館



伝統芸能にふれる会



世代間交流お茶会



## 5. 令和4年度の状況

### (1) 職員体制

児童厚生員	2名	} 当番制で2名ずつ勤務
放課後児童支援員	4名	
補助員	2名	

### (2) 休館・利用制限等

児童館閉館・放課後児童クラブ利用制限（やむを得ない場合のみ利用可能）

- ・ 1月21日～4月10日
- ・ 8月20日～8月22日

利用制限（家にだれかいる場合は、できるだけ利用をひかえてもらう）

- ・ 8月23日～8月31日

### (3) 学校から児童館までの安全対策

- ・ 瀬戸勤向かいの電柱等に、ドライバーに安全を促す看板が設置された
- ・ 交通指導員は見つからず、児童館職員が週1回下校指導にあたる
- ・ 大鰐病院の工事に伴い、4月19日より通学路が変更になり、さまざまなことが発生  
(3学期は、雪のため元の通学路に戻った)

### (4) 事故・ケガ

令和4年10月17日（月）16時43分ごろ 1年生男子  
階段でつまずき落下 頭部裂傷 通院3日

### (5) 放課後児童クラブ 登録状況

## 令和4年度 登録人数及び利用状況

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
ほぼ毎日利用	13	11	5	2	3		34
週何度か利用	12	5	9	1	6	1	34
土曜日 学校休業日利用	11	7	3	9	3	2	35
	36	23	17	12	12	3	103

### (6) その他

- ・ 8月3日（水）9：25 来館児童28名  
福祉センター横の川の氾濫の危険が高まったため、来館児童の保護者に連絡を取り帰館の措置をとる

## 令和4年度 大鰐町中央児童館研修参加状況

期 日	名 称	参加者
5月下旬	青森県児童館連絡協議会館長・職員研修会	なし
6/30	手作りおもちゃ講習会	小笠原・石塚
7/7	放課後子どもプラン指導員等研修会(前期)	小笠原・須藤・成田(千) 石塚
9月下旬	放課後子どもプラン指導員等研修会(後期)	中止
10/12.13	児童厚生二級指導員研修会	小笠原
11/25	児童館職員研修会	小笠原・石塚
11/7.8.29	放課後児童支援員に係る都道府県認定資格研修 ※放課後児童支援員の認定資格を得るには16科目 24時間の研修を受けなければならない。	工藤
12/6	青森県放課後児童支援員資質向上研修会 ～初任者コース～	石塚・原子

## 令和4年度 大鰐町中央児童館 消火・避難訓練実施報告書

**目 標** 避難訓練の意味と大切さを知るとともに、利用者が職員の指示に従い、落ち着いた態度で機敏に行動できるようにする。また、職員が広い館内でも的確に伝達・指示・誘導が出来るようにする。

**内 容** 火災、地震、不審者侵入、自然災害を想定した避難訓練（年間13回）  
（詳しい想定状況や訓練目的、役割分担、配慮等については、実施1週間前に関係職員へ配布）

**参 加 者** 児童館利用者、職員  
（総合訓練については、福祉センターの利用者も含む）

### 実施内容

	日 時	訓練内容	想 定	参加人数
1	4月18日（月）13:00～13:15	消火・避難誘導	火災 2階遊戯室	34
2	5月11日（水）16:00～16:20	消火・避難誘導	地震	41
3	6月10日（月）15:00～15:15	消火・避難誘導	火災 1階男子風呂場	45
4	7月26日（火）10:10～10:40	通報・消火・避難誘導	総合訓練	61
5	8月10日（水）15:30～15:45	消火・避難誘導	地震	34
6	9月14日（水）16:15～16:30	消火・避難誘導	火災 2階小会議室	41
7	10月 8日（土）11:00～11:10	通報・避難誘導	地震・火災1階娯楽室	22
8	10月26日（水）16:20～16:40	通報・避難誘導	防犯避難訓練（不審者侵入）	45
9	11月10日（土）10:00～16:30	情報収集・消火・避難誘導	非常災害（水害） 火災1階ロビー	38
10	12月19日（水）16:15～16:30	消火・避難誘導	火災・2階視聴覚室	37
11	1月10日（火）16:00～16:30	通報・消火・避難誘導	総合訓練	37
12	2月 2日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	地震・火災1階娯楽室	52
13	3月23日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	火災・2階調理室	36
計				523

※ 総合訓練については、総合福祉センターの訓練に参加

年度の前半は、非常ベル音に対しての危機感をもつものの、その後の避難指示に関する放送内容を最後まで真剣に聞き入れない様子の子がいたためその都度繰り返しの指導を心がけてきた。年度中盤頃からは、場面や状態に応じ真剣に参加しようとする意識や姿が見られるようになり、迅速な避難ができるようになった。

登録児童の利用簿のチェック記入の重要性についても理解することができ、記入漏れが少なくなった。





## 令和4年度 大鰐町シルバー人材センター事業報告

### 1 就業機会の提供

会員の就業機会の提供は、会員の希望や能力、経験等を考慮しながら希望を配慮のうえ、グループ就業、ローテーション就業で仕事の配分をした。

仕事の内容は、除草、草刈り、清掃、りんご農作業及び駐車場誘導等で、豪雪の影響で、冬期除雪受注件数が増加した。

・令和4年度 4月末会員数 男 19名 女 14名 計33名

入会会員 男 5名 女 2名

退会会員 男 4名 女 2名

(退会理由 病気、加齢、就職、会費未納、その他)

・令和4年度 職群別事業実績

区分	職種	受注件数 (件)	就業 実人員 (名)	就業 延人員 (名)	契約金額			
					配分金	事務費	材料費等	合計
保安	通学指導、 駐車場誘導	24		451	1,406,900	149,830	155,122	1,711,852
農林漁業	りんご農作業 雪囲い	44		788	5,027,100	502,706	114,277	5,644,083
生産工程	網戸張替、屋 根雪止め取付	5		10	73,100	7,310	24,087	104,497
運搬・ 清掃・ 包装等	清掃・除草・ 草刈り	267		2,873	7,037,355	734,601	1,136,080	8,908,036
合計		340	34	4,122	13,544,455	1,394,447	1,429,566	16,368,468
前年度計		385	41	5,098	16,259,877	1,704,511	856,880	18,821,278

### 2 安全・就業対策の強化

センターの受託した仕事が、会員にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易なものであったか確認し、就業中及び就業途上における事故防止のための声かけをした。

また、危険予知や現場確認の徹底並びに作業道具や防護具の確認等を通じて事故の未然防止を図るべく、安全就業推進研修会を開催した。

・ 保険適用事故一覧

傷害事故 2件

事故発生日	就業中 途上別	性別	年齢	事故の型 部位 状	事故の概要 事故の原因	センターの対応
令和4年 7月21日 (木)	就業中	男	67	蜂刺され	(1) 草刈り作業 中、草の中から出て きた蜂に刺された。 (2) 予測はしてい たが、蜂を確認で きず回避できなか った。	会員自ら受診 本人より連絡を 受け、保険会社へ 手続きした。
				手指		
				皮膚の炎症		
令和4年 8月26日 (金)	就業中	男	72	蜂刺され	(1) 草刈り作業 中、腐った木の根元 から出てきた蜂に刺 された。 (2) 予測はしてい たが、蜂を確認で きず回避できなか った。	後日会員自ら受 診 一緒に就業して いた会員より連絡 を受け、保険会社 へ手続きした。
				手		
				皮膚の炎症		

損害賠償事故 1件

事故発生日	事故発生の状況および原因		(1) 事故の概要 (2) 事故の原因	センターの対応
	ア：仕事の 内容	イ：事故の 型		
令和5年 2月20日 (月)	除雪作業 (他に分類 されない運 搬、清掃、 包装等の職 業)	器具・用具 を接触させ て損壊	(1) 除雪作業中、 除雪機が接触し下 水管およびます蓋 を破損させた。	会員から連絡を 受け、状況を確認。 被害宅へ謝罪。修理の手配を するため、建設 課、業者、保険会 社へ連絡した。

3 その他

令和4年5月7日 (土) 河川敷清掃奉仕活動 8名  
 令和4年7月8日 (金) 令和4年度大鰐町シルバー人材センター顔合わせ会 23名  
 令和4年8月8日 (月) 令和4年度安全就業指針研修会 7名